

令和4年度 第5回 政策決定会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和4年11月29日（火） 12：45～13：30
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、戎井副市長、大下教育長
 - ◆説明者：残総務部長、西田庁舎建設準備課長、上田庁舎建設担当主幹
-

◆審議事項

岸和田市新庁舎整備基本計画の改定案について・・・・・・・・・・庁舎建設準備課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉よく整理されており、「ウィズコロナ」など言葉が統一されたことによりわかりやすくなっている。洪水と高潮についても、明確に言い切る形にしているので、市民がハザードマップを見た時の不安軽減になる。また、集中豪雨や爆弾低気圧、線状降水帯についても読み取れるようになっている。

活断層については、河田教授からも問題ないと聞いている。大阪府でも府警本部や大阪国際がんセンター、大阪重粒子線センター等を建設する際、近くを上町断層が通っているということでもかなり議論し、視察も行ったが、耐震性が確保され頑強な公用施設等が建設されている。技術面で補えることをはっきり謳うこと。

物価上昇・円安の状況が続いている。10年前は70円程度であったが、いまや2倍になっており猛烈に円安が進んでいる。為替については年が変わりどのように動くかはわからないが、物価については注意深く見ておくこと。また、人件費も常に上がっていくので、人件費が上がっても吸収できるように。金額に反映しないような形で中に収めていくということが大切。予算からはみ出さないよううまく工夫を。国からの資金をしっかり獲得できるようにすること。

〈戎井副市長〉堤副市長の言うとおり、上町断層の上にも公用施設等が建っているので、建築基準法に基づいて建設すれば問題ないという認識を。計画内の活断層の仕組みについての図において、線が見えづらい部分があるため修正すること。また、岸和田市総合防災マップから引用している図について、凡例の色の見分けがつきにくい。わかりやすい図にすること。

緊急防災・減災事業債については最大限活用できるように。また期限の延長についても要望していくように。

若い職員の機運醸成について、若い人の意見を吸い上げ、皆が新庁舎に期待できるような職員を挙げて取り組んでもらいたい。

〈教育長〉新庁舎が令和10年度にできてから、人工地盤を作って駐車場整備をするとのことだ

が、現在の第1・第2駐車場が使えなくなる間、その分の駐車台数の確保はどうするか。

〈庁舎建設準備課長〉第4駐車場をすべて一般向けに開放し、公用車は駅の上や浪切ホール等の活用を検討している。駐車場の整備が完了してから元に戻す予定。

〈教 育 長〉面積の算定において、執務スペースと窓口スペースの分離について考慮されているか。

〈庁舎建設準備課長〉現在の面積算定にはそこまで詳しくは入っていない。しかし、設計段階では当然にセキュリティへの配慮は求めていく。

〈教 育 長〉教育委員会の立場からすると、文化財や景観に配慮いただいたことはありがたい。

〈市 長〉基本計画についてはそのまま、致し方ない部分のみ変更したということ、必要に応じ繰り返し説明すること。今回、新型コロナウイルスの経験が庁舎建設について改めて考える機会になった。

資材の高騰については、現時点で一定理解を得ておくように。高くなっても交渉はできるよう対策をしておくこと。

〈庁舎建設準備課長〉工事監理業務委託ということで、本来ならば受注者側の業者が法的な内容について工事監理を行うが、それに加え、発注者側も法定分野にとどまらずコスト面や技術面を含めた工事全般を対象とした工事監理を行い、牽制を掛け合いながらプロジェクトを進めていくという考え方を持っている。コスト管理・工程管理などを行い、コアの部分は守りつつ、可能な部分はグレードを変えるなどの方法をとっていく。

〈堤 副 市 長〉物価や人件費、資材費の増嵩は、世界で市場経済が動いている以上これまでも当たり前前に起こっていること。行政側でも基準を持って交渉していくこと。

〈市 長〉大勢の人に共感し、理解してもらえる体制が必要なので、わかりやすくシンプルに説明できるよう常に心掛ける必要がある。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総務部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市新庁舎整備基本計画の改定案について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	岸和田市新庁舎整備基本計画の改定案の承認と、承認後のパブリックコメントの実施。
説明者	庁舎建設準備課 課長 西田 淳一 主幹 上田 幸司
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和4年度 第5回会議
付議事項	岸和田市新庁舎整備基本計画の改定案について

★取組の目的

対象	新庁舎整備基本計画
どのような状態を目指す	新庁舎整備基本計画の改定案の承認と、承認後のパブリックコメントの実施。

★総合計画上の位置付け

202030201	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)事務を効果的・効率的に行うための体制が整っている
	目指す成果	②資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている
	行政の役割	ア 市の財産を適正に管理する

★現状と課題

平成30年度に新庁舎の建設地を現所在地に決定、令和元年度に新庁舎整備基本計画を策定、令和2年度に設計施工事業者を選定するための公募型プロポーザルを実施し、受注候補者を特定後に仮契約を締結したが、本契約とする工事請負契約議案については、議会の議決を得ることが出来なかった。

令和2年度末までの実施設計着手が条件とされている、市町村役場機能緊急保全事業による起債活用による財源が見込めなくなったことから、事業の見直しが必要と判断し、新庁舎整備基本計画を見直すこととした。

見直しに当たっては、現所在地で建替えを行う基本計画の整備方針や導入機能を受け継ぎつつ、「仮設庁舎を使用しない」、「集約部署の見直し・執務スペースの圧縮による延床面積の見直し」、「立体駐車場の見直し」により事業費を圧縮すること、さらに、これまで想定していなかったコロナ禍を契機とした新しい生活様式への留意やリモートワークなどの働き方なども踏まえ、これらにも対応できる庁舎を考えることとした。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)	予算額	見込額						
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
基本計画の改定	9,812								
設計施工事業者の選定(公募型プロポーザル)		108							
基本設計・実施設計・工事監理			156,505	305,715	51,659	63,418	35,226	36,422	
施工				1,868,295	1,868,295	1,868,295	1,868,295		
現庁舎解体・駐車場整備								1,461,920	
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源	9,812	108	156,505	2,174,010	1,919,954	1,931,713	1,903,521	1,498,342
	その他								
事業費	計		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
	9,584,045		156,505	2,174,010	1,919,954	1,931,713	1,903,521	1,498,342	

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
有	無	1	1	0	0	0	0

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	目標値								
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。